



# 2008年日本の夏

## 桂川の夏(スポーツ編)

### ・スポーツの話題が目押し!

記録的な猛暑が連日続いた今年の夏。異常気象の影響か、各地で局地的な集中豪雨による被害が発生し、テレビの映像をとおして、あらためて自然の脅威を実感させられました。

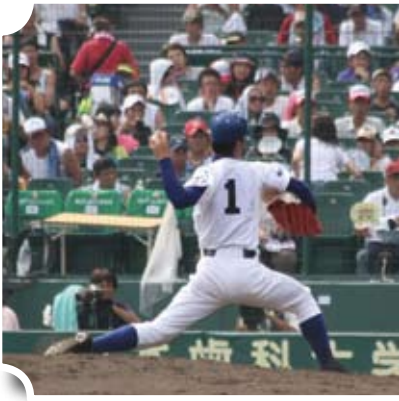
しかし、この夏の一番の話題といえは、平和の祭典である4年に1度の北京オリンピック。お隣の中国で盛大に開催され、連日の日本人選手の頑張りに、日本中が熱い声援を送った夏でもありました。日頃の練習・努力の成果を遺憾なく発揮する選手達の姿、そして大舞台に上がるまでの人間ドラマに多くの感動を覚えました。同じ北京の会場で今月6日〜17日の期間で開催される北京パラリンピックでも、多くの日本人選手のメダル獲得が期待されます。「頑張れニッポン!」



▲ 福岡県大会優勝旗とメダルを手にした飯塚高校の選手達

私たちの地元の話題と言えば、夏の甲子園。地元高校としては39年ぶりに甲子園の土を踏んだ飯塚高校ナイン。福岡県大会で6試

▼ 甲子園でも力投を見せた、飯塚高校の辛島投手



▲ 飯塚高校のスクールカラーのロイヤルブルーでアルプススタンドを染めて熱い声援を送る応援団



島投手を軸に投打ともに安定したチームで、8月4日沖縄県代表の浦添商業高校との対戦に臨みました。飯塚高校野球部の日頃の練習と努力の成果はもちろんのこと、試合前日の夜に福岡を出て甲子園に乗り込んだアルプススタンドの大応援団や、遠く福岡からも多くの熱い声援を力にして戦いました。残念ながら、敗れはしましたが、試合終了後には、飯塚高校の全力野球に多くの拍手が送られました。

桂川町でも飯塚高校の甲子園出場決定後、桂川町立図書館周辺に甲子園出場祝の看板や桂川町役場玄関ロビーに支援のための募金箱を設置して、応援してきました。飯塚高校野球部からは、「桂川町民の皆様のご支援、ご声援ありがとうございます。さらに上を目指して頑張りますので、これからも応援よろしくお願いします。」とコメントをいただきました。

甲子園から飯塚に帰ってきた野球部は、1日だけ休息を取り、その翌日には来年度の選抜、甲子園に向け、再び白球を追いかける生活をスタートさせていました。

合を投げて自責点2、防御率0.39の左の本格派、辛